



お米と ミツバチの 意外な関係

みんなにやさしいお米を選ぶ



GREENPEACE

知ってますか？

じつは、お米とミツバチには
深い関係がありました。



野菜も果物も ミツバチのおかげ

春になると草花の周囲を飛び回るミツバチ。
ミツバチたちは、花の蜜を集めながら花から花へと
花粉を運び、受粉を助け、実りを支えています。

しかし、今、環境の変化や農薬など様々な影響から、
世界的にミツバチが減ってきています。



真っ白でキレイな お米のために 農薬を使っています。

わたしたちの主食、お米。お米を作る田んぼにも、
稲の花粉や水をもとめてミツバチが訪れます。

そんな田んぼで、
ミツバチの大量死が起きています。

その主な原因は農薬。
なかでも多く使われているのが
ミツバチに毒性の強い
ネオニコチノイド系農薬です。



あなたのアクションが必要です

Action 1

あなたの声をつたえよう！
右のQRコードより、署名ができます。



グリーンピースの
食と農をまもる活動 www.act-greenpeace.jp/food

Action 2

あなたが知ったことを
シェアしよう！

@GreenpeaceJP

グリーンピース ジャパン

greenpeacejp

生態系を大切に
食と農に関する情報を発信しています。

※このリーフレットは、「米の検査規格の見直しを求める会」の作成した冊子『知っていますか？斑点米と農薬とミツバチ大量死』をもとにグリーンピース・ジャパンが作成・発行しています。オリジナルの冊子は同会のウェブサイトでご覧になれます。イラストはAkikoさんです。http://hantenmai.sakura.ne.jp/
このリーフレットは、一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの2018年度助成で作成されました。

GREENPEACE www.greenpeace.org/japan/
国際環境NGO グリーンピース・ジャパン
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-13-11 NFビル2F
TEL 03-5338-9800 FAX 03-5383-9817

国際環境NGOグリーンピース・ジャパンは、環境保護と平和を願う市民の立場で活動するNGOです。問題意識を共有し、社会を共に変えるため、政府や企業から資金援助を受けずに独立したキャンペーン活動を展開しています。



ミツバチが創る豊かな作物、豊かな世界



01 ミツバチが花の蜜を集める

花粉が体に付着。



02 花から花へ
飛び交うミツバチ

ミツバチに付いた花粉によって、
受粉が行われる。

田んぼにも
行ってくるよ

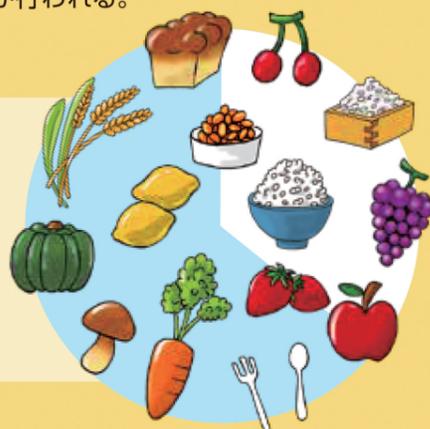


03 野菜や果物が実る、
野生の植物が実を結ぶ

わたしたちにとって かけがえのないミツバチ

”世界の食料の9割をまかなう
100種類の作物のうち、70種以上は
ハチが受粉を媒介している”

国連環境計画 (UNEP) アヒム・シュタイナー事務局長



わたしたちが食べている食料の1/3が
ハチなどの生物の受粉によって
つくられていると言われています。



”キレイな“お米にするため、していること



01 田んぼ

広範囲の農薬散布でカメムシ防除。
事前に着色米や病気の予防。



02 検査

国で定められた規格によってチェック。
等級により、お米の買取価格が決定。
価格は斑点米の割合が1000粒に1粒
の「一等米」と2~3粒の「二等米」では
600円~1000円(60kgあたり)も
違ってしまう。



03 流通

玄米を色彩選別機や精米機にかける。
粒の形状や大きさが基準外のもの、
着色粒(斑点米)、異物等を除去。
※一等米も二等米も混ぜて販売し、
消費者へ。

斑点米って何？

斑点米とは、茶褐色の斑点ができたお米のこと。お米の等級を決める
規定では「着色粒」の中に分類されています。稲穂の実がやわらかい

時にカメムシ類が米の汁を吸う痕が斑点になります。
毒もなく安全で、混入割合も0.1%~0.7%
程度とごく僅かで食味には影響しません。ただ、見
た目の問題です。



point 1

斑点米ってほんとにダメですか？

安全性には問題はありません。でも、農家の収入を左右する厳しい規格基準があるので。厳しい規格の理由の一つは「見栄え」。「斑点米は消費者からクレームがくるから」と農林水産省はいいます。



斑点米、落ち着いて考えよう

ここで忘れてはいけない点は、田んぼでヘリコプターや小型無人機「ドローン」で大量の農薬をまかなくても、**斑点米は色彩判別機でほぼ取り除けると**いうことです。

この規格ができた昭和49年(1974年)とは違い、斑点米はもはや消費者からの主なクレームではなくなっています。

お米の安全性や、ミツバチ、田んぼの周囲の生態系を損なわない**解決策はもうある**のです。



point 3

見栄えといのちとおいしさと

一等米は斑点米の混入率が1000粒に1粒以下、二等米は3粒以下と決められており、なんと異物(砂や石など)の混入割合より厳しくなっています。

一等米と二等米では60kgあたりの買取価格が600~1000円も違います。

そのため、**お米農家は斑点米対策に、農薬の使用を続けざるを得ない**のです。

でもこの等級、基準は形状や粒の大きさ、見た目に関するものがほとんどで、**おいしさとは無関係**。

そして、一等米も二等米も混ぜて売られるため、消費者には、自分が何等米を食べているかさわかりません。

そんなことのためにミツバチや他の生物の命を奪う農薬を使ったお米を、本当に消費者が望むものでしょうか？

※輸入米の場合、等級はなく、着色粒(斑点米)は1%までとなっており、国産米(0.1%)の十倍も緩い基準で流通しています。

あなたはどんなお米がいいですか？

見た目？おいしさ？環境？

「わたしの視点」で
ひとつひとつ選んでみませんか？

わたしたちにできること

Share

シェアして
世論を作っていこう

Buy

有機農業の
お米を買っていこう

Act

仕組みを変えるため
一緒に行動しよう

生産者と一緒に、ミツバチや生態系にやさしい田んぼやお米をめざそう

厳しい斑点米の規定があるかぎり、**農家はカメムシ退治の農薬をやめたくてもやめられない**。とはいっても、農家の意見だけでは、お米の規格を変えることはできません。

真実を知ること、消費者にも農家にもメリットのない斑点米の規格を一緒に変えていきませんか？そうすれば、農家は無駄な農薬を散布しなくて済み、お米もより安全になり、ミツバチ被害や環境汚染をなくすことにもつながります。

また、**有機・無農薬農法や自然農法を実践している農家から直接お米を買うこと**で、自分にも小さな命にも、**農家にもやさしい食**を選ぶこともできます。



ミツバチとわたしたちの暮らしを守る

農薬による生態系の破壊は、わたしたちの知らないところで進行しています。**子どもたちが大人になっても、日々の食と農と環境が豊かなものであるために、今できることから始めてみましょう。**

ネオニコチノイド系の殺虫剤やペット用品を使わないようにしたり、有機農業や自然栽培などで作られた野菜や果物を選ぶ。

また、地域の有機農家から直接購入して生産者を応援するなど、**選択の変化が暮らしを守ることに繋がります。**

point 2

農薬散布の仕組み

斑点米を防ぐために農薬が使用されるもう1つの理由は、**斑点米の原因であるカメムシが法律※1によって有害な生物※2として指定されていること**。これにより、全国で調査※3が行われ、カメムシが発生すると注意報や警報が出され、それをうけてヘリコプターなどによる**広範囲の農薬散布**が行われます。

カメムシ防除のために田んぼで使用される農薬の主流がネオニコチノイド系の殺虫剤※4です。**ネオニコチノイド系農薬は、カメムシばかりでなく、益虫も含む様々な生き物の命を奪い、環境に長く残ります。**

農薬を使わないカメムシ対策はある



有機農法や自然農法等の生産者の方は、**天敵など、田んぼの生きもの多様性を利用して、農薬を使わずにカメムシ被害を防いでいます。**

斑点米を作るカメムシは40~60種類。主な種類は8月頃に水田に侵入し、稲の未熟な穂を吸ってその痕が斑点米となります。カメムシは、周辺の畦などのイネ科の雑草が発生源です。雑草を刈り取れば、田んぼへの侵入を防げるので、

point 4

ネオニコチノイド系農薬、EUではもう禁止

ネオニコチノイド系農薬は水溶性で、植物の内部に浸透、溶けて土壌や水に残るため、**環境に蓄積して広がりやすく、さらにその作用(毒性)は長期間に渡って続きます**。直接殺虫剤に触れるだけでなく、殺虫成分を含む草花の蜜や花粉をミツバチが巣に持ち帰ることで、**巣のハチ全体が弱ったり、育たなくなったりすることもあります。**

ヨーロッパでは2018年4月に屋外での使用が全面禁止され、**アメリカ、韓国等、その他多くの国ではネオニコチノイド系農薬に対する厳しい規制が設けられています。**

しかし、**日本では規制がなく、食品への残留基準も大幅に緩和されています**。各地で起こっているミツバチ大量死とネオニコチノイド系農薬の関係性が、農林水産省の調査でも明らかとなっています。

このままでは、**ミツバチだけでなく、子どもたちを含むわたしたち消費者も、増えていく残留農薬のリスクにますます脅かされることとなります。**

※1 植物防疫法 ※2 有害指定動物 ※3 発生予察調査 ※4 主にジノテフラン(商品名:スタークルなど)、クロチアニジン(商品名:ダントツなど)、スルホキサフル(商品名:エクシード、トランスフォームなど)